

市町村名	伊平屋村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	海浜公園植栽及び緑化体制整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備	
担当部課名	建設課		事業実施 年度	平成 24	～平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光地として魅力的な景観形成を図るため、公園内の植栽をおこなうとともに、村民参画による島内緑化推進体制の整備を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計	
	A. 予算現額	36,322	11,758	12,981	3,024	64,085	
	B. 執行済額	36,232	11,700	12,977	3,024	63,933	
	うち 交付金充当額	28,983	9,360	10,381	2,419	51,143	
	執行率(%) (B/A)	99.8%	99.5%	100.0%	100.0%	99.8%	
	執行状況の説明	予算に関して事業計画通りに執行出来た。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	フクギ等植栽 1,700本程度	目 標	1697本	1700本	1700本	1700本	
		実 績	1697本	1331本	1441本	706本	
	視察研修・植栽実施研修、生育管理研修の実施	目 標		視察研修植栽研修の実施	視察研修植栽研修の実施	視察研修植栽研修の実施	生育管理研修
		実 績		島外視察研修植栽実施研修の実施	島内生産者の園場視察植栽実施研修を実施	島内生産者の園場視察植栽実施研修を実施	生育管理研修を実施
	生育調査及び施肥下刈りの実施	目 標					生育調査及び施肥下刈り
		実 績					生育調査及び施肥下刈りを実施
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	生育調査及び施肥下刈り 生育管理研修	目 標	355㎡	355㎡	利便性の向上	1,610㎡	研修及び実地作業
		実 績	355㎡	355㎡	利便性の向上	1,610㎡	研修及び実地作業
	村民参画による緑化推進体制の整備	目 標		村民参画による緑化推進体制整備	村民参画による緑化推進体制整備	村民参画による緑化推進体制整備	村民参画による緑化推進体制整備
		実 績		視察研修植栽研修の実施	島内生産者の園場視察植栽実施研修を実施	村民参画による緑化推進体制により講習会実施	村民参画による緑化推進体制整備
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況				
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果		R3年度 目標/発現年度				
	観光地として魅力的な景観と感じたかアンケート調査により検証(80%以上)		目 標	80%以上			
			実 績	80%			
	状況説明	【R1年度】 - 平成30年度に樹林育成管理作業を具体的に実施するため、伊平屋村役場職員クラブのメンバーを中心とし育成研修を行った。育成研修を受けた職員クラブのメンバーを中心に村民参加型の、育成管理作業を実施した。 【R2年度】 - R1年度に引き続き、育成研修を受けた職員クラブのメンバーを中心に村民参加型の、育成管理作業を実施する。 【R3年度】 - 海浜側の植栽の生長により防風、防砂の効果が向上している。保護ネットの撤去及び生育の管理を継続して実施していく。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 - 植栽した植物が活着するまで(令和3年度予定)、職員クラブのメンバーを中心に育成管理をおこない、植物の健全な生育を促す。 【R2年度】 - 米崎海浜公園へ植栽した植物の成長により、防風効果が発揮され利便性が向上しているが、コロナウイルスの影響によりやむなく閉鎖をされる期間が続いている。 【R3年度】 - 新型コロナの影響は継続中であるが、キャンプニーズの高揚により、施設利用者は戻りつつある。 - 海岸線の植栽により、防風防砂の効果が発揮され、広いエリアの活用が向上している。			【R1年度】 - 育成環境により成長の差が見られる箇所があるので周辺の風環境に左右されないよう防風機能強化(防風ネットの補修)を行う必要がある。また、海岸線部の樹林の高さや密度によって影響が出ている箇所があるため補植も行う必要がある。 【R2年度】 - 樹木の成長保護のため防風ネットを設置しているが、内部の除草等の管理を定期的に行う必要がある。 【R3年度】 - 樹木の成長に合わせ、保護ネットの撤去、施肥下刈り等により生育を促進する必要がある。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 - 樹木育成管理人研修を行った職員クラブのメンバーが中心となり、防風機能の強化や補植等、育成管理作業を地域住民と共に行い、施設内植物の健全な生育環境を維持する。 【R2年度】 - 施設を指定管理しており、管理者への指導や育成管理作業をともにを行い育成環境を維持するとともに、利便性向上のための間伐や捕食を行う。 【R3年度】 - 育成管理作業及び育成環境を維持するとともに、利便性向上のため施肥、間伐や捕食を行う。							

市町村名	伊平屋村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	新伊平屋村製糖工場建設工事				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-(12)-イ	
担当部課名	農林水産課		事業実施 年度	平成 29	～平成 30	年度	
					沖縄振興基本方針 該当箇所	農林水産業の振興	
						Ⅲ-1-(6)	
事業内容	伊平屋村の製糖工場は、沖縄含蜜工場(8工場)の中でも最も古い施設で移設して52年が経過している為、建物の腐食や老朽化が著しく本質低下の恐れがある。平成29年度より沖縄含蜜糖施設近代化事業で建物・設備設計を実施し、それに併用して、沖縄県振興特別推進交付金(特別枠)を活用して施設を行い工場の機能の向上ろ伊平屋村さとうきび振興の強化を図る。						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	合計	
	A. 予算現額	201,153	136,365	193,362	193,362	394,515	
	B. 執行済額	64,788	136,365	0	155,659	356,812	
	うち 交付金充当額	51,830	109,092	0	124,527	285,449	
	執行率(%) (B/A)	32.2%	100.0%	0.0%	80.5%	90.4%	
	執行状況の説明	平成30年度において農振除外手続き時間を要し、平成29年度の工事進捗が遅れたことにより、事業の発注が遅れ全額繰越となったが、繰越予算で事業計画通りに執行出来た。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
				H29年度	H30年度		
	調査設計業務の発注	目 標	設計委託業務の実施				
		実 績	設計委託業務繰越				
	造成工事(一部)の発注	目 標	工事の実施	工事の実施			
		実 績	工事繰越	工事完了			
	工事施行管理業務の委託	目 標	工事管理業務の実施	工事管理業務の実施			
		実 績	工事管理業務の繰越	工事管理業務の完了			
	施設用地の購入	目 標	農地購入実施				
		実 績	用地の購入完了				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
				H29年度	H30年度		
	調査設計業務の完了	目 標	設計委託業務の実施				
		実 績	設計委託業務繰越				
	造成工事の完了	目 標	工事の実施	工事の実施			
		実 績	工事繰越	工事完了			
	工事施工監理業務委託の完了	目 標	工事管理業務の実施	工事管理業務の実施			
		実 績	工事管理業務の繰越	工事管理業務の完了			
	施設用地の購入完了	目 標	農地購入実施				
		実 績	用地の購入完了				

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成／進捗状況					
				R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度		
		製糖期間におけるさとうきびの受入可能割合100%	目 標	100%	100%	100%		
			実 績	100%	100%	100%		
			目 標					
実 績								
状況説明	【R1年度】 令和1年度の製糖期間の受入(4,236t)の事業効果が出た。 【R2年度】 令和2年度の製糖期間の受入(5,288t)の事業効果が出た。 【R3年度】 令和3年度の製糖期間の受入(4,282t)の事業効果が出た。							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R3年度】 令和3年12月～令和4年4月までの約4.5か月間で100%事業効果が出た。			【R3年度】 製糖期間操業中に機械の不具合等があったが、施工業者との適正整備で無事に操業終了した。今後は適正維持管理をして次回の製糖工場操業に備える。					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R3年度】 製糖工場の施設及び機械の適正な維持管理をして、次回の製糖工場操業に備える。								

市町村名	伊平屋村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	生ゴミ等循環型資源活用事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-(11)-イ
担当部課名	農林水産課		事業実施 年度	平成 28	令和 元	事業年度 該当箇所
生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9						
事業内容	生ゴミを堆肥化することにより、環境改善を図るため、生ゴミ処理機等を整備する。					
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	R1年度	R1年度(繰越)	合計
	A. 予算現額	2,500	9,729	41,348	35,903	53,577
	B. 執行済額	1,234	9,422	5,445	35,903	52,004
	うち 交付金充当額	987	7,537	4,356	33,078	45,958
	執行率(%) (B/A)	49.4%	96.8%	13.2%	100.0%	97.1%
	執行状況の説明	令和元年度に建設工事を指名競争入札により発注したが、指名した業者が全社辞退となったため、令和2年度へ繰越し実施した。				
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			H28年度	H29年度	R1年度	
	生ゴミ処理機を導入し、堆肥化を図る	目 標	協議会の発足	検討委員会3回、ワークショップ5ヶ所開催	生ゴミ処理機を導入し、堆肥化を図る	
		実 績	協議会の発足	検討委員会5回、ワークショップ5ヶ所開催	生ゴミ処理機を導入し、堆肥化を図った	
		目 標				
		実 績				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			H28年度	H29年度	R1年度	
	生ゴミ処理機を導入し、堆肥化を図る	目 標	協議会発足	検討委員会3回開催 ワークショップ5ヶ所開催	3.9t	
		実 績	協議会発足完了	検討委員会3回開催 ワークショップ5ヶ所開催	0t	
		目 標				
		実 績				

市町村名	伊平屋村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
		☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果	R元年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度		
		目 標	3.9t	3.9t	3.9t		
		実 績	0t	0t	4.4t		
		目 標					
		実 績					
	状況説明	【R3年度】 供用開始から4.4tの生ゴミを収集し堆肥化を行う予定をしている。今後施設を活用し、生ゴミの堆肥化に取り組んでいく。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R3年度】 令和3年度に生ゴミの収集により施設利用を予定している。今度堆肥化に向けて事業効果の向上を図る。			【R3年度】 分別されていないことから、分別の徹底をするため、防災無線やチラシ、また収集箇所に分別ポスターを張る。今後、収集量の増を図るため、現場職員と村職員、運営委員会等で協議会を開催し、普及啓蒙に力を入れる。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R3年度】 生ゴミ堆肥化を推進するため、防災無線及び広報、チラシ等で住民周知を行うなど、各集落で住民説明会を行う。また生ゴミ堆肥化3.9tを年間で生産し、各集落婦人会及び学校美化活動に活用して頂き、観光地としてイメージアップを図る。							